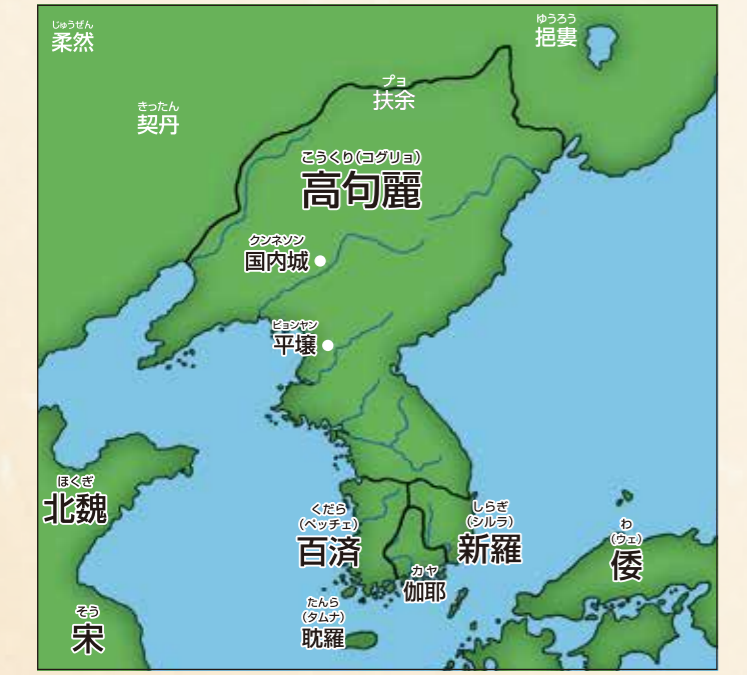


東アジア高句麗史跡マップ

発行 | 高麗浪漫学会 / 一般社団法人高麗1300
〒350-1231 埼玉県日高市鹿山283-5-201 TEL 042-978-7432 HP http://komagun.jp

発行日：2016年7月31日

5世紀後半の高句麗



中華人民共和国 東北部

①五女山城跡 遼寧省 本溪市 桓仁(かんじん)
五女山城は、朱蒙が紀元前37年高句麗を建国した卒本城です。山城を囲む石壁は全長4754m、標高804m。2世紀末に丸都城へ遷都するまで、高句麗はこの山城でその基礎を築きました。世界文化遺産に登録。

②広開土王碑 吉林省 集安(しゅうあん)市
高さ約6.3m・幅約1.5mの角柱状の石碑で、四面に純粋な漢文で計1802文字が刻まれています。第19代広開土王の業績を称えるために子の長寿王が西暦414年に建てました。世界文化遺産に登録。

③將軍塚(墳) 吉林省 集安市
將軍塚は5世紀初頭の墳墓で国内城東北4Kmにあり、広開土王の墓と考えられています。台座の長さは31m、高さは12mあり、7階の階段を持つので「東方ピラミッド」とも言われます。世界文化遺産に登録。

朝鮮民主主義人民共和国

④東明王陵 平壤(ピョンヤン)
世界文化遺産で、一辺32m、高さ11.5m。高句麗初代王の陵。東明王陵はもと集安にありましたが、高句麗の遷都にともない5世紀に平壤郊外に移葬されたものです。日本植民地時代に盗掘され、副葬品は残されていません。

⑤高句麗古墳群 安岳3号墳壁画 黄海南道 安岳郡
墨書銘によって墓の築造年代が357年頃であったことが分かっています。墓は、複雑な構造で、回廊には大規模な行列図が描かれています。また写真の墓主の肖像は、西側室の西壁に描かれています。

高句麗とは...

高句麗は、紀元前1世紀から668年まで約700年間続いた国です。中国の遼寧省桓仁付近(卒本城)で建国し、吉林省集安(国内城、丸都城)、そして平壤(平壤城)と都を移し、朝鮮半島の北半分と、中国の東北地方まで領有しました。百済、新羅とともに、朝鮮半島に三国時代を築き、三国は覇権を争って何度も衝突を繰り返しました。高句麗の全盛期は4世紀末～5世紀、第19代広開土王とその息子・長寿王の時代です。7世紀、隋・唐からの侵攻を度々撃退しましたが、最終的には唐・新羅の連合軍により滅ぼされました。

渡来人とは、4世紀から7世紀頃に中国大陸及び朝鮮半島から日本に移住した人々を呼びます。これらの渡来人は、大和朝廷や有力氏族の配下として畿内や近江に住み、日本の古代国家の形成に大きな役割を果たしました。668年に滅びた高句麗からも王族を含む多数の渡来がありました。当時日本では高句麗を高麗と呼びました。〈高麗郡歴史ミニガイドより〉

高麗郡は、霊龜2年(716)東国7カ国にすでに移住していた高麗人1799人を武蔵国に集めて設置されました。〈続日本紀〉

大韓民国 京畿道/ソウル市

⑥徳津山城跡 坡州(バジュ)市
臨津江(イムジンガン)の中州の対岸丘陵に作られた全長984mの山城。両翼に渡り場があり、交通路の監視・防衛の拠点の役割を果たしました。高句麗土器や瓦が多く出土しており、格の高い建物があったと考えられています。

⑦ホロゴル堡壘跡 漣川(ヨンチョン)郡
臨津江の北岸にあり城の周りは401m。南側と北側は絶壁を利用し、東側だけに城壁を築いた三角形の堡壘です。平壤城と漢城を結び幹線道路路上にあるだけでなく、臨津江を馬で渡る要所でもありました。

⑧堂浦城堡壘跡 漣川郡
ホロゴルと同様、三角形の絶壁の上に作られています。臨津江が大きく曲がり流れが緩やかなため渡河の要所で、楊州方面から北上する新羅軍が開城に進軍するのを防ぐ戦略的要衝地でした。

⑨無等里第2堡壘跡 漣川郡
無等里堡壘は臨津江を境に新羅軍と戦闘を行った高句麗軍の堡壘です。発掘調査で高句麗兵士の鉄冑が出土しました。これまで壁画を通じてしかその姿を理解できませんでしたが、正確な形状が分かることになりました。

⑩胎封山堡壘跡 楊州(ヤンジュ)市
胎封山堡壘は楊州堡壘群の北端にあり、臨津江方面から楊州盆地に入る山上に位置する重要堡壘です。発掘調査により2014年に高句麗鉄製鎧兜が出土し、断片的に発掘調査が行われています。写真は城壁発掘現場です。

⑪阿且山4堡壘跡 九里(クリ)市
高句麗遺跡として最初の調査が行われ、軍事遺跡であることが明らかになり、遺物がたくさん発見されました。建物、貯水施設、オンドルなどの内部構造物があり、雉(チ ※城壁を登ってくる敵を側面から攻撃するために張り出した部分)も確認されました。簡易鍛冶施設も発見されました。

⑫高句麗遺跡展示館 九里市
阿且山堡壘などの高句麗遺跡について概括的に理解できるようパネルや土器、鉄器などの遺物を展示しています。写真は4堡壘の復元模型。展示館隣りには4堡壘を参考に高句麗鍛冶屋村を再現しています。

⑬広開土王広場 九里市
王の業績をたたえるため、広開土王碑実物大模型と広開土王像を広場に建てました。広開土王像は広開土王の30代の顔かたちが復元され、頭に冠をかぶり、右手に三足烏が刻まれた玉を持っています。

⑭板橋博物館 城南(ソンナム)市
高句麗軍人の墓と思われる。約10mの古墳石室が保存・展示されています。傾斜面をL字形に掘り、壁と天井を石で積み重ねてつくっています。遺物は出土していませんが、石灰を使用した痕跡が見られます。

⑮夢村土城跡 ソウル市
風納土城(ブンナフトソン)が百済の王城、夢村土城は戦争のための避難用の山城、石村洞古墳群は王陵と考えられています。夢村土城からは高句麗の遺物も多く発見されています。

⑯漢城百済博物館 ソウル市
夢村土城に隣接している漢城百済博物館には、周囲の百済、高句麗、新羅の遺跡の遺物が展示されています。オリンピック公園の敷地内に位置します。

⑰国立中央博物館 ソウル市
本館は東館と西館で構成され、約9万2千坪の敷地内に、建物は地下1階・地上6階、延べ面積4万1469坪という世界でも有数の規模を誇っています。高句麗関係の展示室も充実しています。

⑱ソウル大学校博物館 ソウル市
1946年開館。考古歴史室には、高句麗研究発展の基礎となった阿且山一帯の遺跡や臨津江沿岸高句麗軍事遺跡の発掘品の展示が充実しています。無等里堡壘の鉄冑も展示。

大韓民国 忠清北道

⑲中原高句麗碑 忠州(チュンジュ)市
朝鮮半島内に勢力を拡大した長寿王の時代、高句麗が新羅を従属させていたことを示す石碑です。碑文では高句麗と新羅との関係を兄弟になぞらえています。中原高句麗碑展示館に展示されています。

⑳チャンミ山城跡 忠州市
中原高句麗碑近くの南漢江岸に築かれた、高句麗の大きな山城です。標高337m、険しい山におびただしい数の石を積み上げて全長約3kmにも渡って築き上げられています。

㉑鳳凰里磨崖仏 忠州市
高句麗仏教の南下を示す重要な遺跡で、600年ごろに作られたと推定されています。如来座像と半跏像は、三国時代に流行した弥勒信仰の影響を受けていると考えられます。面長な仏像が高句麗仏教の影響がうかがわれます。

㉒温達山城跡 丹陽(タニヤン)郡
あとの時代にも使われているので高句麗時代そのままというわけではありませんが、高句麗の山城建築様式の特徴が残されています。温達將軍がこの地で新羅との戦いに敗れて死んだといわれています。麗には丹陽温達オープンセット場があります。

日本 西日本

㉓飛鳥寺飛鳥大仏 奈良県 明日香村
本尊飛鳥大仏は鞍作鳥(くらつくりのとり)によって作られた日本最古の金銅仏。黄金30kgが使われましたが、その半分を高句麗王から送られ、飛鳥寺には高句麗僧慧慈が住みました。

㉔高松塚古墳壁画 奈良県 明日香村
高松塚古墳は直径23mの円墳(被葬者不明)。石室内の壁面に、女子群像(写真)や方角の守護神「四神」、星宿図などが描かれました。キトラ古墳の壁画とともに高句麗古墳壁画の影響を強く受けているとされています。

㉕高麗寺跡 京都府 木津川市
旧山城国相楽郡には大泊郷などの地名や高麗寺跡があり、高麗人がいた可能性が濃厚です。ここは交通の要衝で、高麗使・高麗人の拠点となりうる場所ですし、高句麗使を饗応・宿泊させる施設があったとも考えられます。

日本 東日本

㉖巨麻(摩)郡 山梨県西部
巨麻は高麗が由来と言われ、高麗人が遷置されたと考えられています。旧巨麻(摩)郡には積石塚が多く分布し、また、馬産が盛んで、3つの牧が設置されていました。写真は甲斐市のお舟石古墳で3頭分の馬歯が出土しました。

㉗高来神社・高麗山 神奈川県 大磯町
大磯には、高句麗の滅亡後、船で渡来した高句麗人が上陸して開拓したという伝承があります。かつて高麗寺があり、現在も高麗山、高来神社があり、高麗、唐ケ原などの地名が残っています。

㉘高麗神社 埼玉県 日高市
高句麗の王族・高麗王若光を祀る社です。若光は高麗都建都の中心的人物とされ、武蔵野の開発に力を尽くしました。若光の御霊を祀って高麗明神とあがめ、現在に至るまで若光の後裔によって社が守られています。

㉙高麗山聖天院勝楽寺 埼玉県 日高市
高麗王若光の侍念僧・勝楽の発願により、勝楽の弟子で聖雲(若光の三子)と高麗氏三代目の弘仁によって創建されました。国指定の文化財「銅鐘」、高麗王廟(写真)など多くの文化財が伝わっています。

㉚亀塚古墳跡 東京都 狛江市
銅鏡や鉄剣、馬具などが出土しました。出土品のうち、金銅製金具に見られる人物や動物の像が、高句麗の古墳石室内の壁画に類似していることから、狛江地域と渡来人との関係が指摘されてきました。(狛江市HPより)

あとがき
高麗1300・高麗浪漫学会は、韓国の中にある高句麗史跡を訪る旅を3回にわたり実施してきました。また、明日香村や大磯町を訪ね、高麗王・若光ウォークも開催しました。その成果をもとに、高句麗の史跡の全体像がわかる「東アジア高句麗史跡マップ」を作成しました。完璧なものではありませんので、今後も調査・補完してまいります。みなさまのご意見をお寄せください。

編集：高麗浪漫学会(会員：小俣 洋一郎・山田 英次)
写真資料提供：共同通信社 / 明日香村教育委員会(協力)高麗神社
4000部